

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-24547(P2019-24547A)

【公開日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2017-143749(P2017-143749)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月18日(2020.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

導出を許容する表示結果を抽選によって決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に基づき、通常区間から当該通常区間よりも有利な有利区間に移行するか否かを決定する有利決定手段と、を備え、

前記事前決定手段の決定結果は、複数のカテゴリに割り当てられ、

前記複数のカテゴリは、前記有利区間に移行する旨が決定されない前記事前決定手段の決定結果が割り当てられる非移行カテゴリと、前記有利区間に移行する旨が決定される前記事前決定手段の決定結果が割り当てられる移行カテゴリとを含み、

前記事前決定手段は、前記非移行カテゴリと前記移行カテゴリとのうちの一方のカテゴリに割り当てられる決定結果となるか否かの抽選を行った後、当該抽選によって当該一方のカテゴリに割り当てられる決定結果とならなかったときに、前記非移行カテゴリと前記移行カテゴリとのうちの他方のカテゴリに割り当てられる決定結果となるか否かの抽選を行い、

前記事前決定手段の抽選によって前記非移行カテゴリに割り当てられる決定結果となる確率は、遊技状態に応じて異なり、

前記事前決定手段の抽選によって前記非移行カテゴリに割り当てられる決定結果となる確率は、設定に応じて異なる、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

導出を許容する表示結果を抽選によって決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に基づき、通常区間から当該通常区間よりも有利な有利区間に移行するか否かを決定する有利決定手段と、を備え、

前記事前決定手段の決定結果は、複数のカテゴリに割り当てられ、

前記複数のカテゴリは、前記有利区間に移行する旨が決定されない前記事前決定手段の決定結果が割り当てられる非移行カテゴリと、前記有利区間に移行する旨が決定される前記事前決定手段の決定結果が割り当てられる移行カテゴリとを含み、

前記事前決定手段は、前記非移行カテゴリと前記移行カテゴリとのうちの一方のカテゴリに割り当てられる決定結果となるか否かの抽選を行った後、当該抽選によって当該一方のカテゴリに割り当てられる決定結果とならなかったときに、前記非移行カテゴリと前記移行カテゴリとのうちの他方のカテゴリに割り当てられる決定結果となるか否かの抽選を行い、

前記事前決定手段の抽選によって前記非移行カテゴリに割り当てられる決定結果となる確率は、遊技状態に応じて異なり、

前記事前決定手段の抽選によって前記非移行カテゴリに割り当てられる決定結果となる確率は、設定に応じて異なる。

スロットマシンは、以下のように構成されてもよい。

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（たとえば、スロットマシン1）において、

特定表示結果（たとえば、強チェリー1～3に対応する右上がりチェリーの図柄組合せ）と特別表示結果（たとえば、B Bの図柄組合せ）とを含む複数種類の表示結果のうちのいずれかの導出を許容する事前決定手段（たとえば、メイン制御部41による内部抽選を実行する処理）と、

表示結果を導出させるために操作される導出操作手段（たとえば、ストップスイッチ8L, 8C, 8R）と、

前記導出操作手段の操作態様を報知可能な報知状態（たとえば、A T）に制御する報知状態手段（たとえば、メイン制御部41によるA Tに制御する処理）と、

前記事前決定手段によって前記特定表示結果の導出が許容されたことに基づき、前記報知状態への制御が通常状態（たとえば、通常区間）よりも高まる有利状態（たとえば、C Z）に制御するか否かを決定する有利決定手段（たとえば、メイン制御部41による有利区間当選の有無を決定する処理）と、

前記特別表示結果が導出されたときに特別状態（たとえば、B B）に制御する特別状態手段（たとえば、メイン制御部41によるB Bに制御する処理）と、

前記有利状態への制御が決定された旨を示唆する有利状態示唆手段（たとえば、メイン制御部41によるメイン報知を実行する処理）とを備え、

前記事前決定手段の決定結果には、前記特別表示結果の導出が許容されるとともに前記特定表示結果の導出が許容される同時決定結果（たとえば、役番号35のB B + 強チェリー1、役番号33のB B + 強チェリー2、役番号32のB B + 強チェリー3）と、前記特別表示結果の導出が許容されることなく前記特定表示結果の導出が許容される非同時決定結果（たとえば、役番号46の強チェリー1）とが含まれ、

前記有利状態示唆手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記非同時決定結果（たとえば、役番号46の強チェリー1）でありかつ前記有利状態への制御が決定されたとき（たとえば、図15(c), (d)に示すように、移行対象役の単独当選時に有利区間当選したとき）には、第1タイミング（たとえば、有利区間当選してから当該有利区間当選したゲームの次のゲームの賭数が設定されるまでの先報知タイミング）で当該有利状態への制御が決定された旨を示唆

し、

前記事前決定手段の決定結果が前記同時決定結果（たとえば、役番号 3 5 の B B + 強チェリー 1 ）でありかつ前記有利状態への制御が決定されたとき（たとえば、図 14（a）, 図 17（g）に示すように、移行対象役と B B との同時当選時に有利区間当選したとき）には、前記第 1 タイミング（たとえば、先報知タイミング）と当該第 1 タイミングよりも後の第 2 タイミング（たとえば、B B の図柄組合せが導出された以降のいずれかの後報知タイミング）とを含む複数種類のタイミングのうちのいずれかで、当該有利状態への制御が決定された旨を示唆し（たとえば、図 12 参照）、

前記事前決定手段の決定結果に対して予め順番（たとえば、役番号）が定められており（たとえば、図 7 参照）、

前記事前決定手段は、前記順番に従って表示結果の導出を許容するか否かを決定し（たとえば、内部抽選では役番号の大きい抽選対象役から優先的に当選するか否かが判定される）、

前記事前決定手段は、取得した乱数値と当該事前決定手段の決定結果ごとに予め定められた判定値とに基づき、表示結果の導出を許容するか否かを決定し（たとえば、内部抽選では乱数値と抽選対象役に定められた判定値とを用いて加算処理を行うことで当選するか否かが判定される）、

判定値のデータは、予め定められた順番に配列されている（たとえば、図 8 に示すように、役番号の大きい順に配置されている）。